Kodak

Prinergy Evo

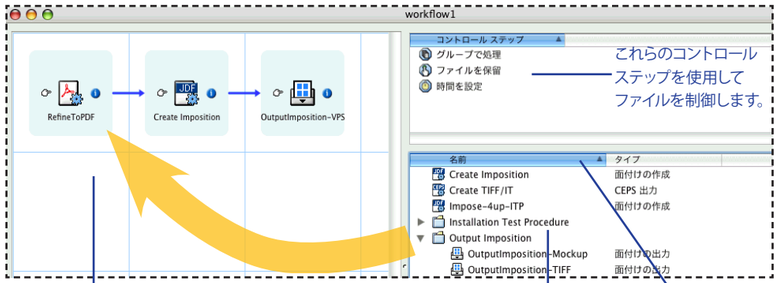
クイック リファレンス カード 2

ワークフロー テンプレート エディタについて

Prinergy® Evo ソフトウェアで使用するプロセス テンプレートは、Prinergy Evo の処理条件を指示する、デフォルトやユーザー定義の設定をまとめたものです。プロセス テンプレートは、すべて［プロセス テンプレート エディタ］で作成し、編集します。

Prinergy Evo には、ワークフロー テンプレート エディタという、プロセスおよびコントロール ステップをリンクして使用する高性能のツールが搭載されています。プロセスおよびコントロール ステップは、順に続けて行うことも並行して行うこともできます。コントロール ステップを使用して、ワークフローを適用する入力ファイルをグループで処理したり、保留することができます。ワークフロー テンプレートが設定されると、手動によるエラーが軽減され、作業をさらに簡略化できます。

注意：このカードで説明する Prinergy Evo の機能には、標準の Prinergy Evo ソフトウェアのライセンスに含まれず、別途ライセンスが必要なものもあります。



これらのコントロール ステップを使用してファイルを制御します。

構成ウィンドウ枠には、このワークフローを構成する処理ステップとコントロール ステップ、およびそのリンクがすべて表示されます。

これらのプロセス テンプレートは、プロセス テンプレート エディタで設定されています。

［プロセス テンプレート］ウィンドウ枠

新しいワークフローの作成

1. プロセス ビューア］の［ファイル］メニューから［ワークフロー テンプレートの新規作成］を選択します。
2. ワークフロー テンプレート エディタで、プロセス テンプレート（［Refine to PDF］プロセス テンプレートなど）かコントロール ステップを選択し、構成ウィンドウ枠へドラッグします。
3. 最初のプロセス テンプレートを構成ウィンドウ枠へ追加した後、他のプロセス テンプレートをドラッグして、ワークフロー テンプレートを構築します。

注意：Prinergy Evo ソフトウェアでは、後の段階のプロセス テンプレートが受け取ることができるファイル タイプに基づいて、ワークフロー ステップをリンクできるかどうかを判断します。これにより、続けて実行できないプロセス テンプレートはリンクされません。詳細については、次のパネルの画面に関する説明を参照してください。

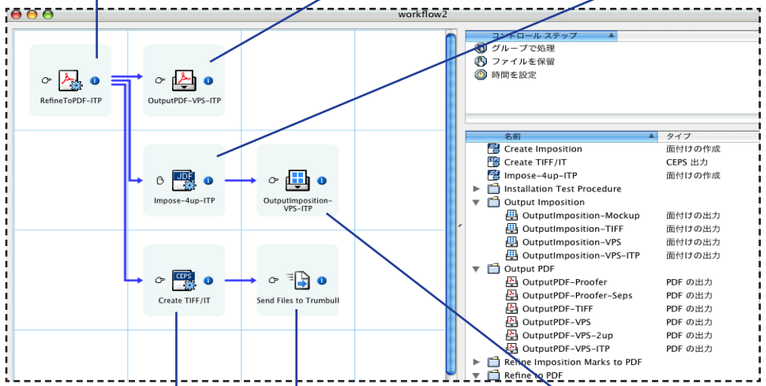
4. ワークフロー テンプレートを保存するには、［ファイル］メニューの［ワークフロー テンプレートの保存］を選択します。
5. ［テンプレートの保存］ダイアログ ボックスで保存先のフォルダを指定し、テンプレート名を入力して［保存］をクリックします。

新しいテンプレートが保存されて、［テンプレート ブラウザ］に追加されます。

この処理ステップでは、Post-Script®、PDF、CT/LW、EPS ファイルなどの入力ファイルを受け取って PDF ファイルを作成します。

この処理ステップでは、PDF ファイルを受け取って、EPS、TIFF、Virtual Proofing System ファイルなどのさまざまな出力ファイルを作成します。

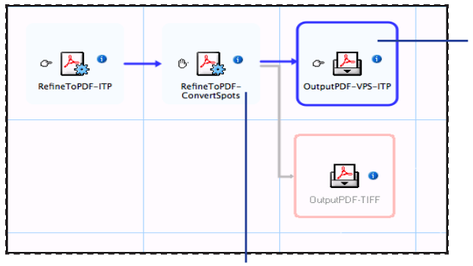
この処理ステップでは蓄積された PDF ファイルを受け取って、JDF（Job Definition Format）面付けファイルを作成します。



この処理ステップでは、PDF ファイルを受け取って、CT/LW および TIFF/IT ファイルを作成します。

この処理ステップでは、1 つまたは複数の処理済みファイルの移動先を指定します。この処理ステップをワークフロー テンプレートの異なる処理段階に追加することによって、Prinergy Evo で処理したファイルを指定の場所に送信できます。

この処理ステップでは、JDF ファイルまたは PJTF（ポータブル ジョブ チケット）ファイルを受け取って、EPS、TIFF、Virtual Proofing System ファイルなどのさまざまな出力ファイルを作成します。



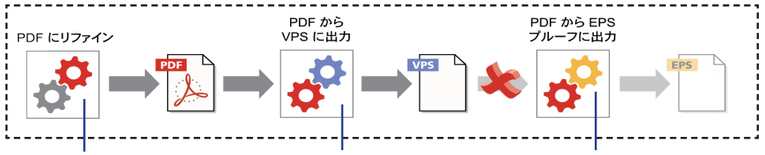
プロセス テンプレートを構成 ウィンドウ枠にドラッグすると、アイコンが配置されます。アイコンは、上下または左右に配置されます。左右に配置されたアイコンは各処理が順次行われることを示し、上下に配置されたアイコンは各処理が並行して行われることを示します。

このアイコンは、プロセス設定の確認または調整のために保留を指定したことを示しています。ファイルがリリースされたときに、処理ステップの設定を現状のままにすることも変更することもできます。詳細については、「ワークフローの使用」を参照してください。

処理ステップの設定を変更するには、ワークフロー テンプレート エディタの構成ウィンドウ枠で処理ステップをダブルクリックし、［処理前に設定を調整］チェック ボックスをオンまたはオフにします。手のひらアイコンをクリックして設定を変更することもできます。

ワークフロー ステップのリンク

Prinergy Evo ソフトウェアでは、前段階の処理ステップで出力されたファイルを次のステップで受け取れない場合、処理ステップをリンクできないように制限します。



PDF にリファインする処理ステップで、PDF ファイルが作成されます。

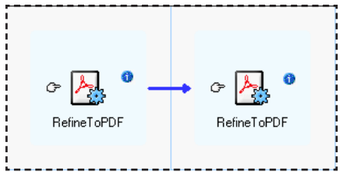
PDF から出力する処理ステップで PDF ファイルを処理し、Virtual Proofing System ファイルを作成します。

PDF から出力する処理ステップで使用できるのは PDF ファイルのみであるため、Virtual Proofing System ファイルは処理されません。

ワークフローの編集

1. ［プロセス ビューア］の［ファイル］メニューから［ワークフロー テンプレートを開く］を選択します。
2. ［テンプレートを開く］ダイアログ ボックスで既存のテンプレートを選択し、［開く］をクリックします。

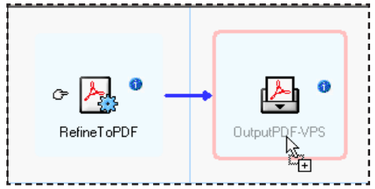
ワークフロー テンプレート エディタに既存のワークフローが表示されます。



3. 次のいずれかまたは複数の操作を実行してください。

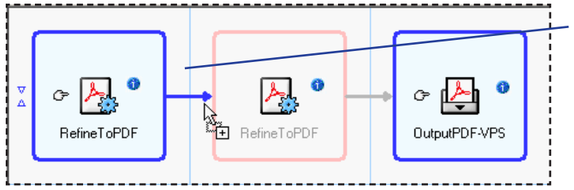
- 構成ウィンドウ枠で既存の処理ステップを別のものに入れ替えるには、[プロセス テンプレート] ウィンドウ枠の新しいテンプレートを既存のアイコンの上にドラッグします。

既存の処理ステップが新しいステップと入れ替わります。



- 新しい処理ステップを挿入するには、[プロセス テンプレート] ウィンドウ枠で新しいプロセス テンプレートを選択し、既存のステップの左側にドラッグします。

新しいプロセス テンプレートをドロップする前に、新しいワークフローの順序が表示されます。



新しい処理ステップを既存のステップの左側にドラッグします。

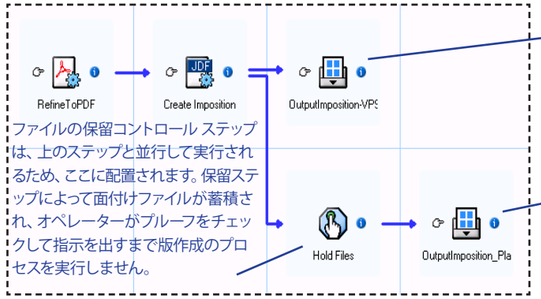
- 構成ウィンドウ枠から処理ステップを削除するには、削除するステップを選択してキーボードの Delete キーを押します。

コントロール ステップについて

コントロール ステップの一覧から ワークフローにドラッグするアイコン	目的
グループで処理	指定したファイル数が蓄積されるか、一定の時間が経過するまで、入力ファイルを保留にします。このコントロール ステップは、最初のステップとして構成ウィンドウ枠に追加できます。
ファイルを保留	入力ファイルを手動でリリースするまで保留にします。この機能を使用して、並行する処理ステップで作成されたファイルを確認するまで、次の処理への送信を保留します。
時間を設定	指定した予定時間まで入力ファイルを保留にします。

ワークフローの構築

PDF にリファイン、面付けの作成、ファイルの保留、面付けの出力などのステップが含まれる基本的なワークフローにおけるアイコンの配置を明したものです。



この処理ステップでは、Virtual Proofing System ファイルが作成されます。

ファイルの保留コントロール ステップは、上のステップと並行して実行されるため、ここに配置されます。保留ステップによって面付けファイルが蓄積され、オペレーターがプルーフをチェックして指示を出すまで版作成のプロセスを実行しません。

この処理ステップでは、版が作成されます。

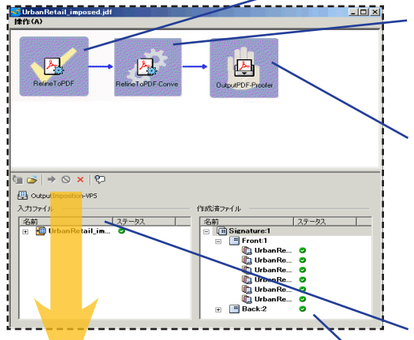
ワークフローの使用

1. テンプレート パレットまたは [テンプレート ブラウザ] のプロセス テンプレート アイコンに 1 つまたは複数の入力ファイルをドラッグします。

2. [プロセスの開始] ダイアログ ボックスで必要な設定を変更し、[送信] をクリックします。変更を行うと、ワークフロー テンプレートの最初のステップの設定が変更されます。

3. [プロセス ビューア] で [ワークフロー別に表示] アイコン をクリックし、開始するワークフローをダブルクリックします。

ワークフロー ウィンドウが表示されます。



問題なく処理が完了した場合は緑色のチェック マーク、警告が含まれている場合は黄色のチェック マークが表示されます。赤い X マークは、エラーが検出されたことを示しています。

処理中は歯車の動画が表示されます。

手の動画は、何らかの操作が必要な場合に表示されます。手の動画は、設定の調整を行うために保留の指定をしていると表示されます。ユーザーがファイルをリリースするまで処理されません。

既存のワークフローを使用して 1 つまたは複数の入力ファイルを追加または修正する場合は、ファイルをワークフロー ウィンドウにドラッグします。

上のウィンドウ枠の処理ステップ アイコンをクリックすると、入力ファイルのリストが表示されます。

処理によって作成されたファイルは [作成済ファイル] リストに追加されます。

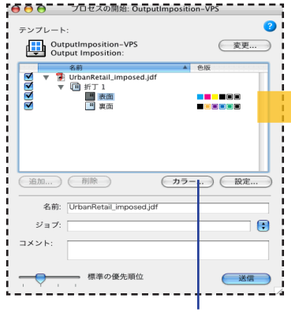
目的	操作
1 つまたは複数のファイルを開く	[入力ファイル] または [作成済ファイル] リストで 1 つ以上のファイルを選択し、 をクリックします。
Finder または Windows エクスプローラで 1 つまたは複数のファイルを表示する	[入力ファイル] または [作成済ファイル] リストで 1 つ以上のファイルを選択し、 をクリックします。
入力ファイルをリリース、または入力ファイルを再送信する	処理ステップをクリックし、[入力ファイル] リストで 1 つまたは複数のファイルを選択して、 をクリックします。[プロセスの開始] ダイアログ ボックスで [**設定**] をクリックし、基本的な設定を確認または変更するか、[**OK**] をクリックして変更せずにファイルをリリースします。
1 つまたは複数のファイルの処理を停止する	[入力ファイル] リストで 1 つまたは複数のファイルを選択し、 をクリックします。
不要なファイルを削除する	[入力ファイル] または [作成済ファイル] リストで 1 つ以上のファイルを選択し、 クリックします。
入力ファイルに関するエラー、警告、および一般的な情報メッセージが表示される [プロセス履歴] ダイアログ ボックスを開く	[入力ファイル] または [作成済ファイル] リストで 1 つ以上のファイルを選択し、 [入力ファイル] または [作成済みファイル] リストでファイルをクリック、またはダブルクリックします。

動的な設定について

1 つまたは複数の入力ファイルを Prinergy Evo の [テンプレート ブラウザ] またはテンプレート パレットのプロセス テンプレート アイコンにドラッグすると、[プロセスの開始] ダイアログ ボックスが表示されます。[設定] ボタンをクリックすると、そのプロセス テンプレートに含まれる主な設定が表示されます。たとえば、面付けから出力するプロセス テンプレートを使用して入力ファイルを処理する場合、[面付けの出力] プロセス テンプレートでよく使用される設定がダイアログ ボックスに表示されます。

この設定を使用して、入力ファイルに適用する処理設定に一時的な変更を行います。このダイアログ ボックスで行った変更によって、プロセス テンプレートの同じ設定が変更されることはありません。

動的な設定の詳細については、Prinergy Evo クライアントのオンライン ヘルプを参照してください。





[面付けの出力] プロセス テンプレートの場合のみ、[カラー] ボタンがこのダイアログ ボックスに表示されます。

Internal: 732-00103A_JA_RevA

Eastman Kodak Company
343 State Street
Rochester, NY 14650 U.S.A.

© Kodak, 2007. All rights reserved.
TM: Kodak, Preps, Prinergy Evo

To learn more about solutions from Kodak, visit graphics.kodak.com

Subject to technical change without notice.